

FISHER'S AUDITORY PROBLEMS CHECKLIST

フィッシャーの聴覚情報処理チェックリスト

生徒の名前 \_\_\_\_\_ 校区 \_\_\_\_\_  
 日時 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 観察者 \_\_\_\_\_

観察者の方が該当すると思われる事柄の番号の前に、チェックマークをつけて下さい。

- 1 . 難聴の生育歴を持っている
- 2 . 耳の炎症の病歴を持っている
- 3 . 指導時間の半分もしくはそれ以上の時間,(聴く)集中力が続かない
- 4 . 指導を注意深く聴いていない - 指導を繰り返さなければならないことが良くある
- 5 . 「え?」または「何?」という言葉が一日に少なくとも5回あるいはそれ以上言う
- 6 . 数秒以上の音刺激に集中できない。
- 7 . 集中力の続く時間が短い
 

この項目にチェックつけた場合、最も近い と思われる時間枠にもチェックして下さい	0 - 2分	5 - 15分
	2 - 5分	15 - 30分
- 8 . 空想にふける - 注意力がそれる - それが一度ではない
- 9 . 背景の音がするとすぐに気が散りますか
- 10 . 発音の学習が困難である
- 11 . 音の識別に関して困難を感じたことがある
- 12 . 何と言ったか数分で忘れてしまう
- 13 . 日々の簡単な決まりきったことを覚えられない
- 14 . 先週, 先月, 昨年に聴いたことを思い出すことに問題がある
- 15 . 聴いたことがあることの順序性を思い出すことが困難である
- 16 . 音源の方向を探查することが困難だったことがある
- 17 . しばしば言われたことを間違って理解している
- 18 . その年齢 / 学年の言語力を考えても多くの言葉が理解できない
- 19 . 聴覚チャンネルを通しての学習がうまくいかない
- 20 . (形態論, 文法, 語彙, 音韻に関する) 言葉の問題がある
- 21 . 発音 (音韻) に問題がある
- 22 . 聴いたことと見たことを関係付けることが常にできない
- 23 . 学習意欲に欠ける
- 24 . 音声刺激に対する反応が遅い, もしくは遅れる
- 25 . 1つ以上の学習領域で平均点以下の成績のものがある

得点計算: チェックしなかった1個に4%を与える。

チェックしなかった個数 \_\_\_\_\_ × 4% = \_\_\_\_\_ %

年齢 / 学年別標準データ (裏面) \_\_\_\_\_ %

本チェックリストは、以下の聴覚情報処理の各要素から構成されている。

連合	音源定位
注意力	長期記憶
集中する時間	動機
聴覚と視覚の統合	成績
クローザー Closure	認識
理解	聴力
識別力	順序記憶
図と地	短期記憶
同定	Speech-Languag の問題

本チェックリストの年齢 / 学年別標準データ

グループ	その年齢範囲	平均
幼稚園	( 5.0 - 5.11歳 )	92.0%
1年生	( 6.0 - 6.11歳 )	89.9%
2年生	( 7.0 - 7.11歳 )	87.0%
3年生	( 8.0 - 8.11歳 )	85.6%
4年生	( 9.0 - 9.11歳 )	85.9%
5年生	( 10.0 - 10.11歳 )	87.4%
6年生	( 11.0 - 11.11歳 )	80.0%
グループの合計( N=280 )		86.8%

  

別の評価法も試みても必要がある境界線	72.0%
一標準偏差よりも下のグループの平均	68.6%
二標準偏差よりも下のグループの平均	50.4%

#### 参考文献

In VanHattuin, Rolland J. (Ed.), "Administration of Speech-Language Services In The Schools", College Hill Press, 1985, pp.231-292.